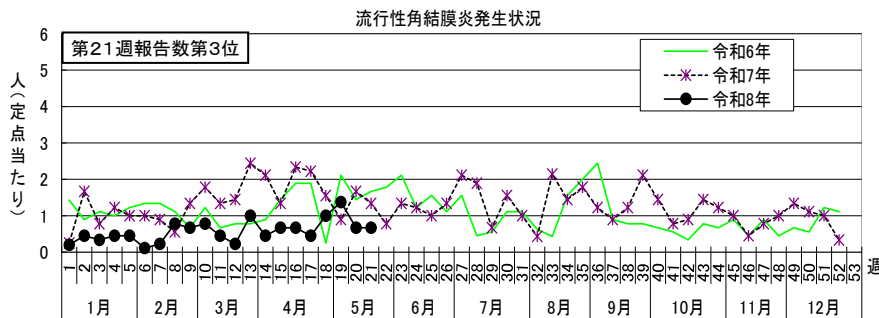
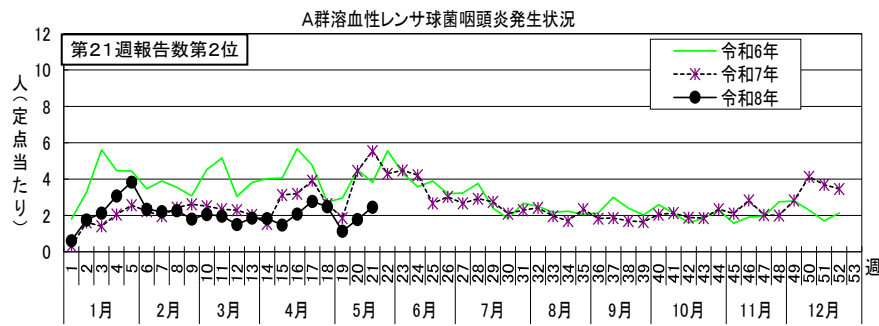
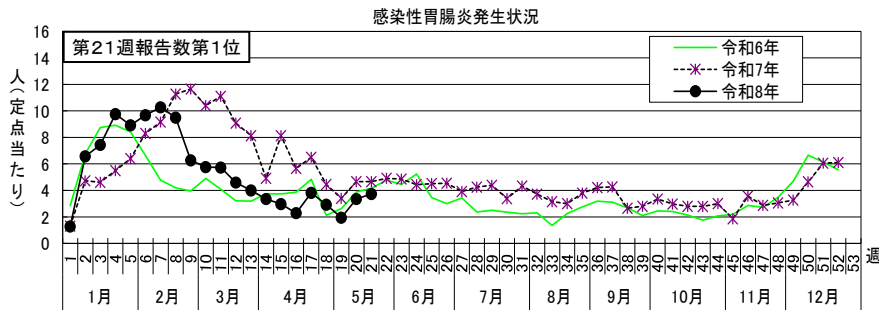


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和8年5月18日（月）～令和8年5月24日（日）〔令和8年第21週〕の感染症発生状況

第21週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 流行性角結膜炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.73人と前週（3.35人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.46人と前週（1.78人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は0.67人と前週（0.67人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



夏に気を付けたい感染症～手足口病～

手足口病はエンテロウイルスやコクサッキーウイルス等を原因とする感染症で、例年夏季に流行のピークを迎えます。川崎市における定点当たり報告数は、令和8年第19週（5月4日～10日）以降徐々に増加しており、第21週（5月18日～24日）に0.54人となりました。

手足口病の典型的な症状は、手のひらや足の裏、口の中等に生じる水疱を伴う発しんです。多くの場合は1週間程度で軽快しますが、まれに脳炎や髄膜炎等の重篤な合併症がみられることもあります。

手足口病は接触感染や飛沫感染により感染するため、手指衛生や咳エチケット等の予防対策が有効です。症状改善後も1か月程度は便からウイルスが排泄されるといわれるため、おむつを交換した後は、流水と石けんで十分に手を洗いましょう。

手足口病とは

病原体：コクサッキーウイルス、エコーウイルス、エンテロウイルス等

感染経路：接触感染、飛沫感染、糞口感染

潜伏期間：3～5日

典型的な症状：軽度の発熱、手掌、足底、足背及び口腔内の粘膜等に水疱性の発しん

予防対策：手指衛生、排泄物等の適切な処理、タオルなどの共有は避ける。

